

ホワイトカラーの生産性を向上する

生産性 = 効果性 × 効率性

カタナ・パフォーマンス・コンサルティング株式会社；坂本 裕司

2009年9月号



第14回（最終回）；成果でしか評価できない理由

■ 成果主義が存在する理由

なぜ、成果主義が存在するのだろうか？ それは、「一生懸命業務に従事すれば、計画的に成果となって現れる業務」と「一生懸命業務に従事しても、必ずしも成果となって現れない業務」が存在しているからである。つまり、成果主義対象者には「時間＝労働対価」という概念が存在しないからこそ、成果（＝結果）で評価されるべきなのである。

■ T型業務® = 先行指標

これまでの連載で解説してきたように、生産性は効果性（主に、T型業務®）と効率性（主に、S型業務®）に分解できる。貴殿が知識労働従事者であるならば、T型業務®とS型業務®が混在している中で業務に邁進しておられることでしょう。知識労働従事者とは最終的に結果指標で評価されるからこそ、出来るだけS型業務®を効率化し、改善された時間をT型業務®へ計画的に投入し、結果指標に繋がる先行指標として、T型業務®の成果そのものを評価されることが、望ましい運用スタイルであるに違いない。

■ 測定できないものはマネジメントできない

この連載内で筆者が心掛けてきたことは、「**定性表現と定量表現をセットで語る**」ことである。人材の力を結集させ、相乗効果を生み出すために「マネジメント」という道具を活用するわけだが、対策などのアイデア（定性表現）が、何に対してどの程度の影響（定量表現）を及ぼしたのか？ を説明できない限り、最終的には属人的なマネジメントにならざるをえない。S型業務®に対する測定技術が多数存在しているのに対し

て、T型業務®に対する測定技術は実際多くは存在していないものの、無いわけではない。連載内でも紹介してきたが、経営学・経営工学・経済性工学・統計学・微分積分などの知識を活用することによって、実際にT型業務®の測定技術が存在していることを今一度認識し、生産性を向上させた結果、一人ひとりが更により良い生活を送るためにも、これらの測定技術を自社内で取り入れていただきたい。

生産性が向上すると

一人ひとりが、
更に、より良い生活を送れる

■ おわりに

経営の財務的、及び、持続的競争優位性を導くために「魔法の薬」などこの世の中には存在せず、むしろ、**自社内人材の知恵を必要としない外部の安易な処方的対策は更に傷口を広げかねない。**

この14回の連載を通してご紹介させていただいたマネジメント技術「Per HPT®・Pro HPT®」（参考；第8回；09年03月号）の運営は、**外部の高い専門的な知識・情報・経験と、社内の問題意識の高いメンバー**がコラボレーションし、独自のマネジメント技術開発に拘る。このようにして構築された技術には魂が込められているからこそ社内の人材は積極的に活用しようとし、その結果行動が変わり必然的に結果も向上する。

最後に、1年以上に渡ってお付き合いしていただきました読者の皆様へこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



執筆；坂本 裕司（MBA） お問い合わせ；info@kpci.jp

カタナ・パフォーマンス・コンサルティング株式会社（www.kpci.jp）；取締役、ISPI 日本支部（www.ispi-japan.com）；プレジデント。専門は生産性向上（W HPT=Human Performance & Productivity Technology®）。

ホワイトカラーを対象としたマネジメント技術：Human Performance Technology®（効果性向上技術）、Human Productivity Technology®（効率性向上技術）を開発し、ホワイトカラーの生産性向上に関するマネジメント・コンサルティング活動、並びに、マネジメント担当者の育成活動を、国内・欧米・アジアを中心に展開。

ISPI（International Society for Performance Improvement、US；生産性向上研究団体；1962年設立）とカタナ・パフォーマンス・コンサルティング株式会社の協同により、アジア地域・日本で最初となる Japan Chapter（日本支部）を設立しプレジデント就任（2003）。ISPI Annual Conference にて、4年連続プレゼンテーション・セッションのリードプレゼンター（2003-2006）同じく日本で初めて ISPI グローバル・セッションのパネリスト（2004）を務める。

（商標登録）

- Human Performance Technology は、カタナ・パフォーマンス・コンサルティング株式会社の日本における商標登録です。
- Human Productivity Technology は、カタナ・パフォーマンス・コンサルティング株式会社の日本における商標登録です。

（出版；坂本著）

- 2007年；ホワイトカラーの生産性を飛躍的に高めるマネジメント（HPTの実践マニュアル）；産能大学出版部
- 2008年；戦略的営業利益マネジメント（コストをかけずにホワイトカラーの生産性を向上させる）；産能大学出版部
- 2009年6月；考える営業（パフォーマンス営業®がホワイトカラーの知的生産性を向上させる）；産能大学出版部

（寄稿・連載など）

- 2007年；ホワイトカラーの成果と行動を定量的にマネジメントする技術（HPT）；月刊人材教育（日本能率協会マネジメントセンター）
- 2007年；知識社会における企業タレントの生産性向上；週刊東洋経済（東洋経済新報社）
- 2008年；パフォーマンス営業と営業組織の生産性；ビズテリア経営企画
- 2008年；ホワイトカラーの生産性を向上させる；人事マネジメント（ビジネスパブリッシング）
- 2008年；病院経営における経営・マネジメントの実際；病院経営（産労総合研究所）